



写真：菅野勝男撮影

家族・施設という

# 闇を暴く

●高齢者・障害者虐待の現状と方策

当事者主権の立場から



講演

上野千鶴子

# 10<sup>土</sup>5

開催日 令和元年

午後6時 開場  
午後6時30分 開演  
午後8時30分 閉会

会場 埼玉会館小ホール (504席)  
入場 無料(事前申込不要。但し、先着順)

# 家族・施設という 闇を 暴く

○高齢者・障害者虐待の現状と方策  
当事者主権  
の立場から

## 講演 上野千鶴子

将来、あなたが年老いた時、あなたの家族や身の回りの人に、どのように話を聞いてほしいですか。

もし、あなたが介助を要する高齢者や障害者であったならば、家族や身の回りの人に、どのように接してほしいですか。

講師の上野千鶴子さんが共著の「当事者主権」（岩波新書）では、高齢者や障害者は客体と扱われることがあるけれども、本来、高齢者や障害者が「主体」として自分の生活を決められるようになるべきではないでしょうか、との考えが示されています。

今回の講演では、高齢者、障害者本人が主体として自分の生活を決め、家族や介護施設従事者等は、その意思決定を支援する「当事者主権」の観点による接し方、関わり方について、またこれを妨げるものと克服する方途をお話しいたします。なお、講演に先立ち埼玉弁護士会と（公社）埼玉県社会福祉士会が県や市町村と連携して活動してきた虐待専門職チームの実践を報告します。



### ■上野千鶴子プロフィール

社会学者・東京大学名誉教授、認定NPO法人ウイメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。



写真：菅野勝男撮影

- 1994年 「近代家族の成立と終焉」(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。
- 2011年度 「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」
- 2019年 フィンランド共和国「Hän Honours」(長年の平等への貢献に対する感謝状)